

⑥⑱長良古津橋線

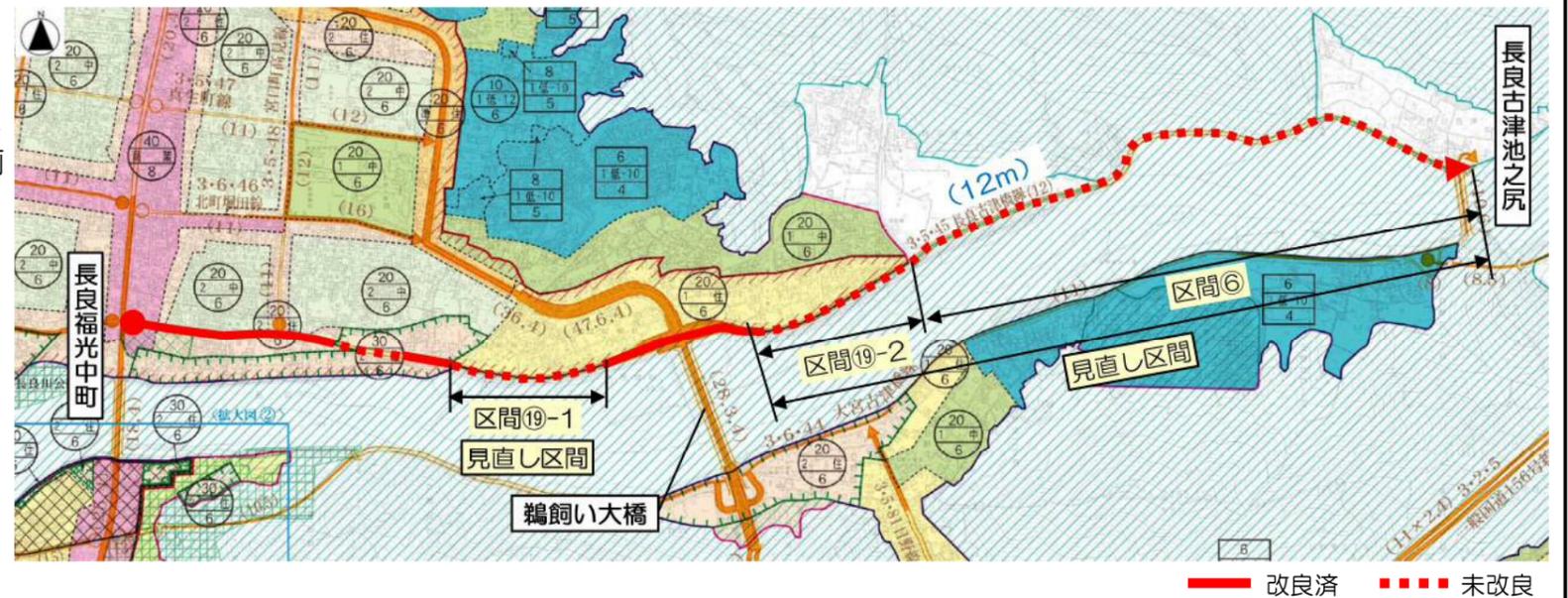
路線の概要

現在の計画

- 長良古津橋線は、昭和21年の戦災復興都市計画において岐阜市中心部北部と東部市街地を結ぶ東西方向の幹線街路として決定されました。
- その後、延長や幅員等が変更され、現在は長良福光中町～長良古津池之尻を起終点とし、計画延長4,980m、標準幅員12mの幹線街路として都市計画決定しています。

整備状況

- | | | | |
|--------------------------|---------------|---------------------------|---------------|
| 【長良福光中町
～岐阜グランドホテル付近】 | ○改良済 | 【岐阜グランドホテル東側
～鵜飼い大橋西側】 | ○未改良で現道があります。 |
| 【岐阜グランドホテル付近】 | ○未改良で現道があります。 | 【鵜飼い大橋付近】 | ○改良済 |
| 【岐阜グランドホテル東側】 | ○改良済 | 【鵜飼い大橋東側～長良古津池之尻】 | ○未改良で現道があります。 |



見直しの理由・内容

路線の主な役割・機能

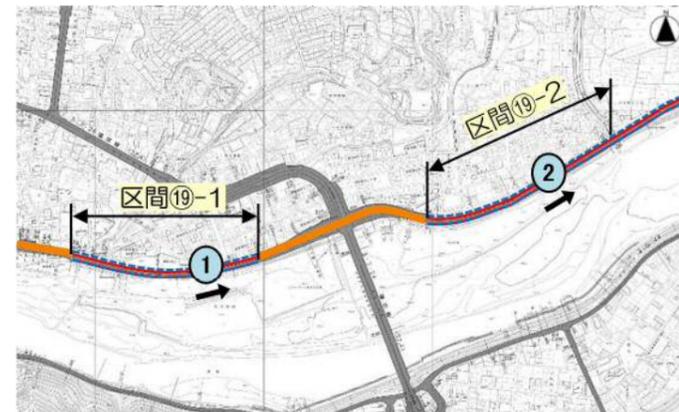
- 市中央部と北東部市街地を結ぶ東西方向の都市幹線街路として、まちづくりの骨格を形成する機能が求められています。区間⑥では北側に並行して整備された主要地方道岐阜美濃線バイパスがその機能を担っています。

見直しの理由

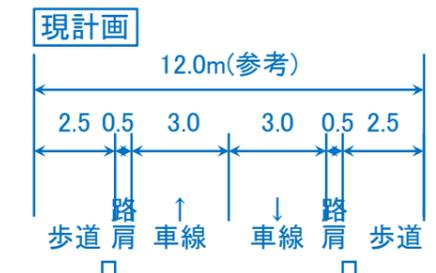
区間⑱ 変更

歩道機能の変化

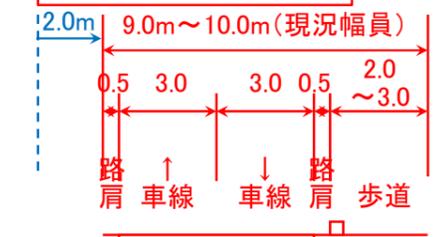
- 2車線両側歩道で計画されていますが、堤防道路で沿道に住宅や施設等の立地がないため、**現道の幅員2～3m程度の片側歩道でも対応が可能**と考えられます。
- 現道は既に2車線の車道が確保されており、**現道幅員に合わせ2車線片側歩道に変更**しても、東西方向の幹線街路としての**機能を果たせ**ると考えられます。



道路断面図(参考)



変更計画案(現況断面)



⑥⑱長良古津橋線

見直しの理由・内容

区間⑥ 廃止

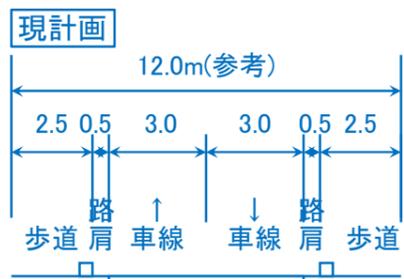
代替ルート

- 主要地方道岐阜美濃線バイパスの整備により現道の交通がバイパスに転換し、東西方向の幹線街路としての機能はバイパスに転換していると考えられます。
- 当区間の都市計画道路を廃止しても、現道とバイパスにより北東部を結ぶ機能を果たせると考えられます。

歩道機能の変化

- 2車線両側歩道で計画されていますが、沿道に住宅や施設等の立地がないため、片側歩道が整備されている区間では、**現道の幅員2~3m程度の片側歩道でも対応可能**と考えられます。
- 歩道のない区間では、バイパスの整備により自動車交通はバイパスへ転換することから交通量が減少すると考えられますが、歩行者・自転車等の安全確保の観点からも、**廃止しても歩行者・自転車等の安全対策を検討する必要がある**と考えられます。

道路断面図(参考)



計画の廃止

周辺路線の状況



都市計画変更(案)の内容

【3・5・45 長良古津橋線】

- 鶺鴒い大橋北交差点の西側の延長約580mの区間、及び東側の延長約640mの区間は、計画幅員12m・2車線から現況幅員の9~10m・2車線に縮小する「計画の変更(幅員縮小)」と考えます。

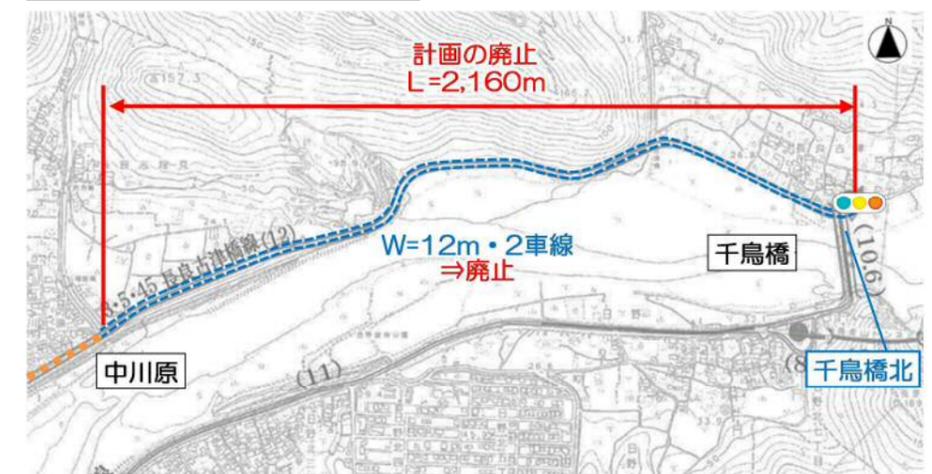
都市計画変更(案)平面図



改良済

- 中川原(市街化調整区域)から千鳥橋北交差点までの延長約2,160mの区間を計画幅員12m・2車線から「計画の廃止」と考えます。

都市計画変更(案)平面図



未改良